

第2185回 例会

8月6日(木)晴れ / 12:30 ~ 13:30 [松魚亭]

1. 講話
尾山神社宮司
加藤 治樹 氏
「神社の世界」
2. 出欠
出席 26名 欠席 17名
3. 来訪者
米山奨学生 チャン・タイン・ハイ君
4. お誕生日祝い(敬称略)
5日 岡田 進
5. 米山奨学金授受
6. ニコニコボックス



中村(實)君 加藤宮司様のお話楽しみにしております。

松田君 8月1日友人と(株)北陸知財研究所設立しました。知恵と汗をかいてコロナ禍をのりきります。

的場君 19年の皆勤賞有難うございます。「光陰矢の如し」でただ馬鹿を重ねています。

畠 君 加藤先生をお招きして！楽しみです。

辻 君 加藤宮司をお迎えして。お話を楽しみにしております。

野村君 加藤治樹様のお話を楽しみにしています。
合計 12,000円 (累計 75,000円)

- ◆ 協議事項
8RC 新年合同例会の件

第2187回 例会

8月27日(木)晴れ / 12:30 ~ 13:30 [松魚亭]

1. 講話
いしかわ動物園元職員
高桑 省吾 氏
「新・旧動物園比較」
2. 出欠
出席 25名 欠席 18名
3. 来訪者(敬称略)
諸江 美奈氏
4. ニコニコボックス



小泉君 会長の代理のまた代理です。本日の卓話高桑様のお話楽しみにしています。

畠 君 高桑様をおむかえして。卓話楽しみです。

大村君 暫く振りの例会出席です。七月初旬も膜下出血のため約二週間程入院手術治療しておりました。おかげ様で後遺症も無く治りました。その際クラブよりお見舞をいただき誠に有難うございました。今後とも宜しく。
合計 9,500円 (累計 92,000円)
8月出席率 79.70%

第2186回 例会

8月20日(木)晴れ / 12:30 ~ 13:30 [松魚亭]

1. 講話
行政書士 勝尾 太一 氏
「成年後見制度について」
2. 出欠
出席 27名 欠席 16名
3. 来訪者
西岡 育代氏、諸江 美奈氏
4. ニコニコボックス



中村(實)君 勝尾さまのお話楽しみにしております。みなさま、暑さに注意しましょう。

的場君 これから私もお世話になるかもしれない成年後見制度の講話、勝尾行政書士さん宜しくお願いします。

畠 君 勝尾様をおむかえして。楽しみにしています。
合計 7,500円 (累計 82,500円)

■金沢市内 RC メークアップ

メークアップご希望の方は事前に
金沢北 RC 事務局へお問い合わせください。

■講話予定

- 9月 24日(木) 金沢市教育長 野口 弘氏「金沢の教育への想い」
- 10月 1日(木) 創立 47周年例会 (金沢市防災施設見学)
- 10月 8日(木) 小坂公民館長 田中 仁氏
「人生の宝 ~活かして使われ 使われて生きる」
- 10月 15日(木) 夜間例会 18:30 ~ 於松魚亭
- 10月 22日(木) 金沢公安調査事務所長 近 智徳氏
「公安調査庁について」
- 10月 29日(木) 伝統工芸展、国立工芸館見学
- 11月 5日(木) 孝藤 まりこ会員 「私の名刺」
コロナウイルス流行状況により中止・変更になることがあります。

理事会報告

8月6日(木) / 出席者 13名

- ◆ 持ち回り理事会の確認
- ◆ 審議事項
 - ① 2019-2020 年度決算報告
 - ② 新入会員の件
 - ③ 危機管理委員会設置の件
 - ④ 事業計画および予算 検温器購入、10月夜間例会、義援金支出
 - ⑤ 松本薫杯金沢少年少女柔道大会の件
 - ⑥ 理事会リモート出席の件

● 会長 / 中村 實博 ● 会長エレクト / 水巻 啓光 ● 副会長 / 小泉 幸雄
● 幹事 / 松田 光代 ● 副幹事 / 喜多 利行 ● 会場監督 / 喜多 利行 ● 会計 / 大場 修
● クラブ会報委員長 / 的場 晴次

● 会員数 / 43名 ● クラブ設立 / 昭和 48年 10月 3日
● 例会日 / 木曜日 12:30 ~ 13:30
● 例会場 / 松魚亭 金沢市観音町 3-4-45 TEL:076-252-2271 FAX:076-252-2273



ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH

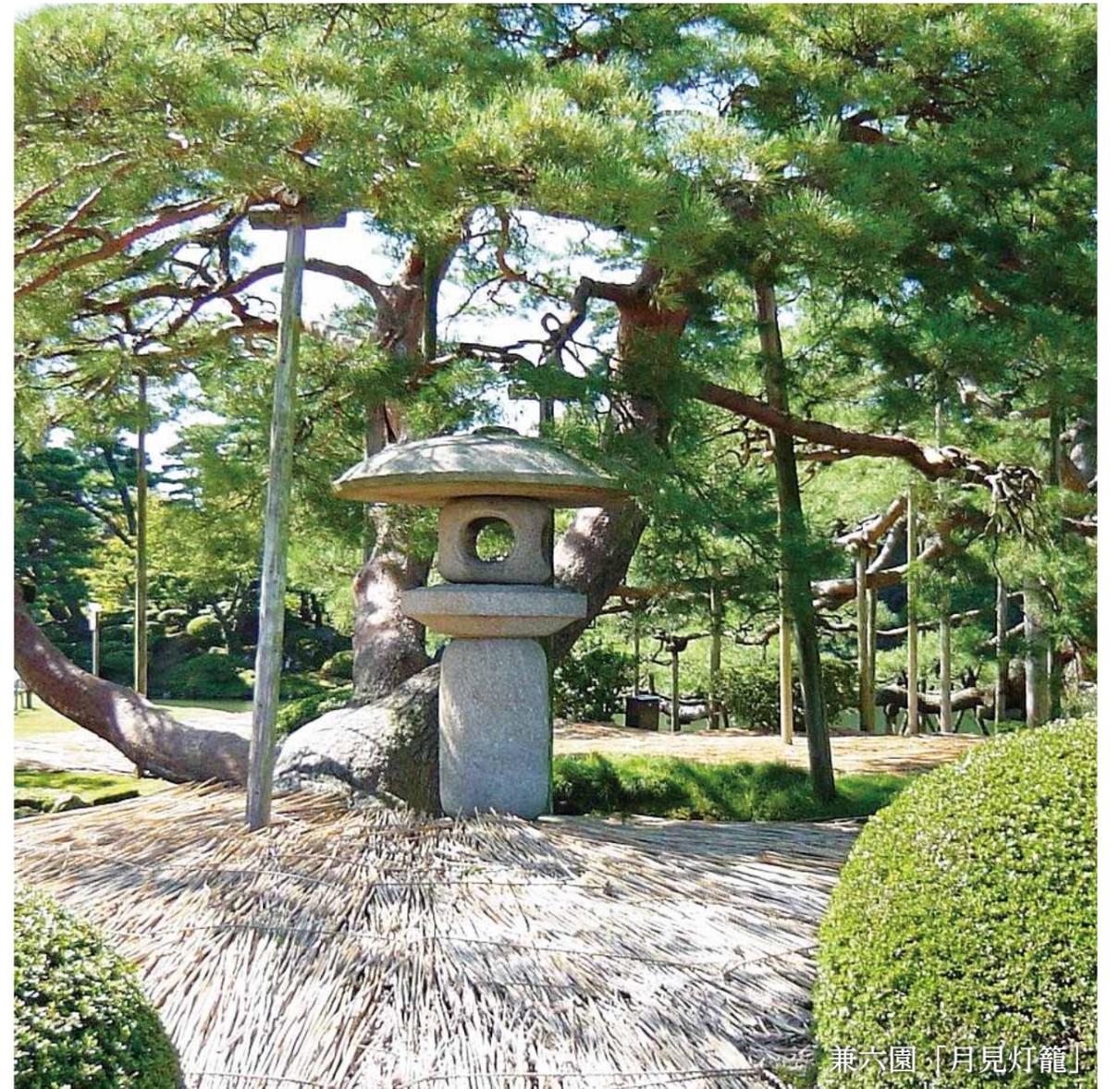
金澤北ロータリークラブ



発行 2020.9.17thu

No. 969

事務局 / 金沢市大手町15番15号 金沢第2ビル4階
TEL:076-254-6368 FAX:076-254-6395
E-mail:office@kanazawa-north.jp
HPアドレス :http://www.kanazawa-north.jp



兼六園「月見灯籠」

ゴルフ同好会だより

幹事 山上 公介

6月28日 日曜、梅雨の晴れ間で絶好のゴルフ日和の中、能登カントリークラブにメンバー19人が集まり熱戦が繰り広げられました。

ーゴールドティー使用は75歳以上にー

御多分に洩れず当会員の高齢化が進んでおります。今回の参加者の実に7割以上が70歳以上(ゴールドティー使用可)。

そうは言っても各界の第一線で活躍の皆さんの肉体年齢は相当に若々しいと判断し、白マークティー(若者ティー)より打って頂く事に致しました。

ーAIの波はゴルフ場にもー

カートに設置された液晶ディスプレイに各人のスコアがリアルタイムで表示されます。その画面に一喜一憂しながら、気分はもうTV中継中のプロゴルファーです(笑)

ー優勝は安宅雅夫君!ー

ダブルペリア方式での接戦を制したのは実力者の同君、前回(6月6日)に続いての連覇達成です。

結果

優勝 安宅 雅夫

2位 中村 實博

3位 山上 公介(ロータリー会長賞)

ーイーグル出た!なんと二人もー

宝達5番パー5で水巻啓光君、日本海1番パー5で私(山上)が出しました。二人とも残り100ヤード前後の距離を直接カップインさせた訳で、まさにホールインワン級の快挙と申せましょう(手前味噌入りました。ご容赦下さい)



新しい生活スタイルに慣れよう!

会員 千口 寿子

今年は季節の楽しみはすべて中止・延期になり、皆様方にご支援いただいた「種まく旅人～華蓮のかがやき～」もあえなく来春に公開させて頂く事となりました。

永い穴ぐらのようなどこにも出掛けない生活を強いられ、「夏には……」の期待もむなしく今年はこのまま過ぎてしまうのかなと思います。

油断大敵という言葉通り、スキを見せてしまうと、スッと入りこんでくる敵に対して、自分を変えてしまった方が無理なく生活できるにちがいない、思い通りにならないイライラがいつまで続くのか不安な中で、ここまで長期化してくると慣れてくるものだなと思いました。

朝目覚めたら「今日何県?」という事や飛行機や新幹線の時間とにらめっこし

て移動する事もなく、時間に追われていた頃の事がよく思い出せません。その中でも仕事量は減ったかという逆に増えたというか、新しい仕事のやり方を勉強して覚えて世代をこえて、考え方を学んだり、すごく充実した新鮮な数ヶ月になったと思います。見ていたはずのものが違っていたり見えなかったものが見えてきたり、めんどろだなどと逃げていた事が時間に余裕があり、向きあえるようになったり。

それぞれがそれぞれの立場で見つめ直す事があったのではないかと思います。今は無理をすることを控え、常に笑い、「こんな時でも出来る事がある、こんな時だからこそやらなければならない事がある」をモットーに楽しみをさがして生活をしていきましょう。

オーストラリア・パースの旅

～10～20億年前、地球の酸素を創り出したストロマトライト・トロンボライトを訪ねて～

会員 佐賀 務

コロナがこんなに流行するちょっと前のこと。数年アイアンマン・レース(フル・トライアスロンで水泳3.8km、自転車180km、ラン42kmを1日でこなす。何とか完走できました)に参加するため、オーストラリア・ケアンズやニュージーランドを訪れた。それが契機となりオセアニアに興味は持っていた。H30年12月、申し込んでいたヨーロッパ・ツアー旅行が、なんと人が集まらずキャンセル。手付金は戻ったが、「この年(71才)になると、いつまで生きているかわからないので・・・」の殺し文句で取れた1週間の休暇がもったいない。そこで、替わりに季節が逆であるオーストラリアのツアーを探した。医師という職業柄、人間はもちろんだが、地球生命の誕生と進化にはとても関心がある。パース(世界一住みよい街との評価がある)のツアーの中に、オプションではあるが、生きている化石、ストロマトライト見学もできるとある。一生に一度は見ておきたかったものだ。

ところが、世界遺産、シャーク湾のストロマトライト見学は、初夏の12月には暑くて?やっていないことが判明。それでもあきらめずに、インターネットで調べたところ、西オーストラリア、クリフトン湖にストロマトライトと同類のトロンボライトがあり、見学できるとの文献を見つけた。ここなら、パース駅から電車で1時間、終点マンジュラからはタクシー30分で到達するとか。結局、ツアーとは全く別の、私的旅行になってしまった。

ANAの羽田-シドニー往復(片道約10時間)と、バージン・オーストラリア航空のシドニー-パース往復(片道約4時間)が取れた。パースのホテル宿泊は3泊。1日はクリフトン湖へ自分たちで行き、もう1日はピナクルズ4WDツアー(ロブスター・ランチ付き)の参加にした。

トロンボライト見学の日。駅まで歩き、切符を購入。14ドル片道。ゾーン7の終点マントラ駅に着き、タクシー乗り場で待つ。15～20分待ってやっときた。

運転手は白人で温厚な人、リチャードさんと読める。クリフトン湖へ行き、見学中15分待ってもらい、帰りも利用する交渉が成立。

いよいよトロンボライト見学だ。クリフトン湖はもともと海岸で、砂丘が隆起して高濃度塩水湖になったようだ。ストロマトライトやトロンボライトは、10～20億年前の太古、まだ動植物に分化する前、世界の海岸線を独占



し、地球の酸素を作り出した光合成細菌だ。酸素が大気中に放出される前に、海水中に溶けている鉄分と反応し海底に広大な鉄鉱床も形成した。その後隆起した海底は、今は北オーストラリアの大規模鉄鉱床として露天掘りされている。光合成細菌は、のちに共生して植物の葉緑体に進化してゆく。生きている化石として、ハメルンプールやクリフトン湖に残れた理由は、塩分濃度が高く、海藻のような生存競争となる相手や魚がおらず食べられる心配がなかったかららしい。大気に酸素が蓄積されてからは、できたオゾン層が紫外線を遮断して、カンブリア爆発と呼ばれる多細胞生物への進化をもたらした。生命を育んだその大きな役割を終え、いまはひっそりと、生ける化石として片隅に生存している。細菌だから永遠の生命ともいえるが・・・。感謝の念を込め、こども世界遺産として登録されてしかるべきだろう。以上、物好き(と言われそうな)旅に付き合ってくれた妻に感謝します。

